

科目名 (科目番号)	精神看護学 援助論 (074172)	教員名 渡部洋子	学科等	看護	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
			オフィスアワー		火・4	渡部研究室	
授業概要	さまざまなメンタルヘルス上の問題に直面している人とその家族に対し、看護を実施するための方法論と援助技術とともに、精神症状や精神状態によって影響される健康や生活をアセスメントし、その人にふさわしいリカバリーをストレングスの視点で看護援助方法を習得する。また、精神看護におけるケアの人間関係を構築するための援助技術について、その目的を対象特性から理解し、その人の状況にふさわしいかわりを、演習を通して習得する。 関係する垂直軸：看護、健康の状態、人間の理解、コミュニケーション、多職種連携、情報の組織化						
準備学習	・毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	ケアの人間関係	到達目標：ケアの人間関係を築く意義・原則・ケアについて述べることができる。 学習内容：精神看護の基本となるケアの人間関係を学習する。				
	2	患者—看護師の 治療的援助関係	到達目標：治療的援助関係について述べるができる。 学習内容：患者—看護師の治療的援助関係についてVTRを用いて学習する。				
	3	治療的援助関係の中で 生じる事象	到達目標：共感、拒絶・攻撃、転移、操作について例を挙げることができる。 学習内容：患者—看護師関係でおこる出来事、チームダイナミクスを学習する。				
	4	精神科における 入院から回復のビジョン	到達目標：入院～回復過程での安全な環境での看護について説明できる。 学習内容：入院治療の意味、治療的環境、回復のビジョンを学習する。				
	5	精神看護援助方法 セルフケア看護モデル	到達目標：セルフケア要素、ケアレベルについて具体的に述べるができる。 学習内容：セルフケアについてアンダーウツの看護モデル事例を用いて学習する。				
	6	精神看護援助方法 ストレングス	到達目標：リフレーミング、ストレングスについて述べるができる。 学習内容：精神科におけるストレングスについて事例を用いて学習する。				
	7	精神科治療と看護 薬物療法	到達目標：安全な服薬管理について説明できる。 学習内容：薬物療法における作用機序・有害反応・アドヒアランスについて学習する。				
	8	精神科治療と看護 作業療法・レクリエーション療法	到達目標：意義・具体的内容について具体的に挙げるができる。 学習内容：OT、レクリエーションについて学習する。				
	9	精神科治療と看護 認知行動療法	到達目標：意義・期待される効果を考察できる。 学習内容：認知行動療法について、SSTを通して学習する。				
	10	精神科での身体ケア	到達目標：具体例を挙げ説明できる。 学習内容：身体に現れる精神の苦痛や身体合併症を学習する。				
	11	精神科で出会う人の看護援助 気分障害	到達目標：生きづらさについて推論し列挙できる。 学習内容：気分障害(うつ・双極性障害)の人の看護を学習する。				
	12	精神科で出会う人の看護援助 パーソナリティ障害・摂食障害	到達目標：程よいパーソナルスペースが保てるコミュニケーションを創造する。 学習内容：パーソナリティ障害、摂食障害の人の看護を学習する。				
	13	精神科で出会う人々の看護援助 依存症	到達目標：身体依存・精神依存、セルフヘルプについて説明できる。 学習内容：依存症(アルコール・薬物中毒)の人の看護を学習する。				
	14	精神科で出会う人々の看護援助 強迫性障害・神経発達症候群	到達目標：援助ならびに対処能力向上に向けた援助を具体的に述べるができる。 学習内容：強迫性障害・神経発達症候群の人の看護を学習する。				
	15	精神科での看護管理	学習内容：①精神科における看護管理の実際を学習する。 到達目標：①精神科における看護管理のあり方について説明できる。 学習目標：②外来・入院・社会復帰・訪問看護等社会資源や制度を学習する。 到達目標：②入院患者の社会復帰に向けた看護について具体的に述べるができる。 (土浦厚生病院看護師)				
	16						
	17	精神科で出会う人々の看護援助 統合失調症	到達目標：各期の特徴、生活のしづらさ・生きづらさについて推論し列挙できる。 学習内容：統合失調症の急性期・回復期・慢性期の看護を学習する。				
	18						
	19	演習 非暴力的危機介入	到達目標：患者・看護師双方の安全を考えた対処方法を実施できる。 学習内容：患者が暴力に至る背景と看護師の対処を体験学習する。(非常勤講師)				
20							

授業計画	21	演習 ロールプレイング	達成目標: 治療的援助関係における自己の強みと課題に気づくことができる。 学習内容: ロールプレイングの目的・方法について体験学習する。			
	22					
	23	演習 プロセスレコード		到達目標: 自己の認知・感情・援助傾向について洞察することができる。 学習内容: プロセスレコードの目的・方法について事例を活用し学習する。		
	24					
	25	演習 ペーパーペイシエント 事例: 統合失調症 気分障害			到達目標: 精神機能・生活機能、ストレンクスと改善する課題を列挙できる。 学習内容: ペーパーペイシエントを用い、精神機能・生活機能アセスメント、 ストレンクス・マッピングシート、ケアプランについて個人ワークをする。	
	26					
	27	演習 ペーパーペイシエント 個人ワーク・グループワーク グループ発表				到達目標: ①情報の整理、アセスメント、ケアプランについて推論ができる。 学習内容: ①個人ワークの資料を持ち寄りグループ学習をする。 到達目標: ②グループメンバーが助け合い目標に向かい作業を進めることができる。 学習内容: ②検討したレポートをもとに、グループで発表用資料を作成する。 到達目標: ③新たに気づいた課題を述べることができる。 学習内容: ③グループ発表・質疑応答をする。
	28					
	29					
	30					
30						
成績評価の方法・基準	期末試験(80%) + 課題レポート(20%) = (合計100%) 合わせて60%合格していること。					
教科書	①系統看護学講座 精神看護学[1] 「精神看護の基礎」 ②系統看護学講座 精神看護学[2] 「精神看護の展開」 (上記①～②は、1年次購入済) ③精神看護学第2版学生・患者のストーリーで綴る実習展開 ④援助技法としてのプロセスレコード ⑤リカバリー・退院支援・ 知己連携のためのストレンクスモデル実践活用術 (③④⑤は、3年次新規購入)	著者代表: 武井麻子 著者代表: 武井麻子 編著: 田中美恵子 編著: 宮本真巳 著者: 萱間真美	医学書院 医学書院 医歯薬出版 精神看護出版 医学書院			
参考図書	ストレンクスモデル(第3版) 著者: チャールズ・A ラップ他	監訳: 田中英樹	金剛出版			
教員からのメッセージ	心理的な苦痛がある時、どのようなかわりが必要なのか、一緒に考えていきましょう。					